

目標

歩きたい 出掛けたくなる サイン

住んでよかった！

行ってみたいっ！

いいまちだな。
また行きたいっ！

公共サインガイドラインは、
住んでいる人、訪れた人が、そう感じてもらえるように、
「ユニバーサルデザイン」と「茅ヶ崎の魅力を伝える」を軸とし、基本方針やデザインの基準
を定めました。

適用範囲

市^{※1}が屋外に設置する「図解サイン」、「指示サイン」、「同定サイン」を対象とします。国・県所管の設置する屋外サインについても、景観法^{※2}を活用し、ガイドラインに基づき、サイン計画を進められるようにします。
施設内のサインなど上記以外のサインについては、ガイドラインの内容を参考にしつつ、個別協議を行い、計画します。

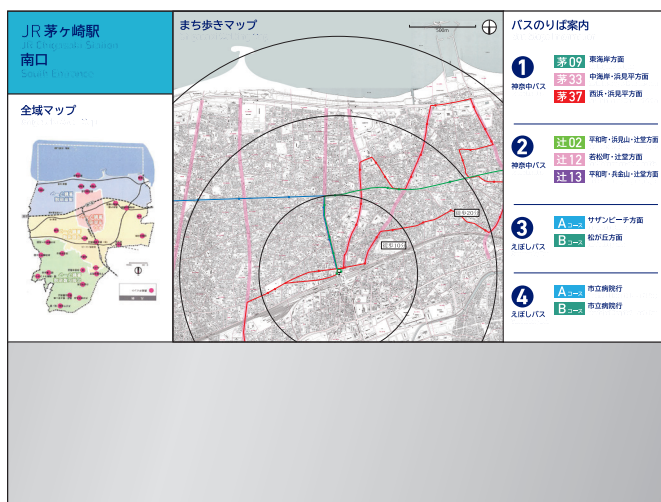
■ガイドライン対象外：国で策定されたバリアフリー整備ガイドラインに基づき計画されている鉄道駅事業者が設定しているサイン、標識令など法令に基づき設置されるもの

案内の方法

海までは、どうやっていくのかな・・・

サザン通りをまっすぐ行って、20分くらいか！

駅などで、バス路線や周辺情報を図解サインで道案内



基本方針

① 分かりやすく伝える（情報内容）

掲出している内容を多くの人が理解できることが大切です。
書体、文字の大きさ、図記号、多言語、色彩などの基準を定めます。

② 誰も見やすい形で伝える（表現様式）

伝えたい情報を的確に伝えることが大切です。
不要な機能や装飾を控えることを基本とし、周辺の情報を伝える図解サイン、施設などの位置を同定するサインなど、サインごとの基準を定めます。また、「海」や「丘陵地」など、茅ヶ崎の魅力を伝えるための図解の考え方を定めます。

③ 受け取りやすい場所に配置する（空間上の配置）

住んでいる人も、訪れる人も、移動は鉄道駅が中心で、市内の移動は「徒歩」「自転車」「バス・タクシー」が主となっています。そこで、サインによる案内は、移動の起点となる鉄道駅等に図解サインを配置し、まちの情報を提供します。道中は、位置を把握しやすい愛称道路等を掲出した同定サインを設置する方法をとります。なお、指示サインは、必要に応じて設置します。

図解サイン：地図等により、ある範囲を案内するサイン
同定サイン：施設や通りの名称を告知するサイン
指示サイン：矢印等により、施設等の方向やルートを示すサイン

※1 指定管理者など、市所管の施設を設置、又は運営・管理する者も含みます。
※2 景観重要公共施設の整備及び占用事項に規定（景観法第8条第2項第4号ロ及びハ）

通り名称を表示、道案内

この道が、サザン通りか！
ここをまっすぐだ！

あつ、海だ！

到着